事例No.	2857
公表年度	R5
団体の属性	都道府県
団体名	岡山県

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・人材確保・育成

事例種類	人材確保・育成

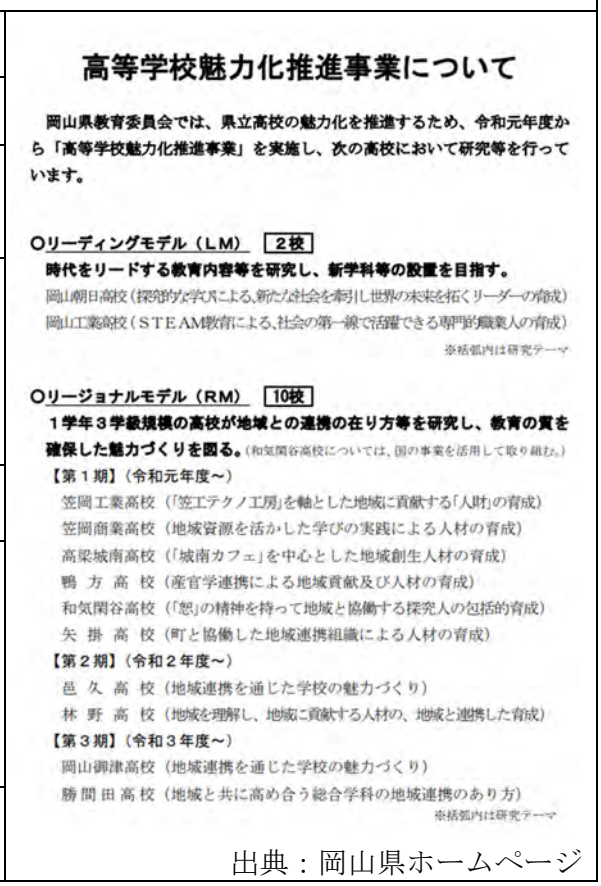
事例内容・タイトル

高等学校魅力化推進事業　（リージョナルモデル）

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第5回）

都道府県名	岡山県			
事業名	高等学校魅力化推進事業　（リージョナルモデル）			
目　的	時代の進変化や社会のニーズに対応できる人材の育成			
経　緯	平成 31 年２月に策定した岡山県立高等学校教育体制整備実施計画に掲げる県立高等学校の魅力化に向け、３学級規模の高校が地域との連携の在り方等を研究し、配置したコーディネーターを活用した地域との連携促進など、教育の質を確保した魅力づくりを図るリージョナルモデルグループ（ＲＭ）６校を指定し、県立高校の魅力化の促進や、地域人材の育成を図る。			
予算規模	500 万円以上			
開始時期	令和元年度（平成 31 年度）	受講規模	2,000 人規模	
実施形態	通学型			
受講者属性	年代	年齢・・・30 代未満		
	職業	職業・・・無職、その他		
受講対象	自治会、地域協議会等の関係者、地域住民等、高校生、大学生等			
効果検証	外部評価実施			
成果指標	設定なし			
目標等	各期目標設定あり、未達に対し必要な取組み認識あり			
運営方法（主体）	都道府県の職員を中心とする運営、実行委員会方式による運営、外部委託（地域連携に関する団体等）			
修了生への対応	特になし			
修了生との関係	高校卒業後のフォローアップまでは行っていないが、当該事業に　おける活動の成果等を学校の学びに継承している。			
修了生の事例把握	把握している。 ・実施報告書に記載			



高等学校魅力化推進事業について

岡山県教育委員会では、県立高校の魅力化を推進するため、令和元年度から「高等学校魅力化推進事業」を実施し、次の高校において研究等を行っています。

○リーディングモデル（ＬＭ）　２校
時代をリードする教育内容等を研究し、新学科等の設置を目指す。
岡山朝日高校（探究的な学びによる、新たな社会を牽引し世界の未来を拓くリーダーの育成）
岡山工業高校（ＳＴＥＡＭ教育による、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成）
※括弧内は研究テーマ

○リージョナルモデル（ＲＭ）　10校
１学年３学級規模の高校が地域との連携の在り方等を研究し、教育の質を確保した魅力づくりを図る。（和気閑谷高校については、国の事業を活用して取り組む。）
【第１期】（令和元年度～）
笠岡工業高校（「笠工テクノ工房」を軸とした地域に貢献する「人財」の育成）
笠岡商業高校（地域資源を活かした学びの実践による人材の育成）
高梁城南高校（「城南カフェ」を中心とした地域創生人材の育成）
鴨方高校（産官学連携による地域貢献及び人材の育成）
和気閑谷高校（「恕」の精神を持って地域と協働する探究人の包括的育成）
矢掛高校（町と協働した地域連携組織による人材の育成）
【第２期】（令和２年度～）
邑久高校（地域連携を通じた学校の魅力づくり）
林野高校（地域を理解し、地域に貢献する人材の、地域と連携した育成）
【第３期】（令和３年度～）
岡山御津高校（地域連携を通じた学校の魅力づくり）
勝間田高校（地域と共に高め合う総合学科の地域連携のあり方）
※括弧内は研究テーマ

出典：岡山県ホームページ